

### (3) 児童相談所における児童虐待相談の対応件数

平成 18 年度中に児童相談所が対応した養護相談のうち「児童虐待相談の対応件数」は 37,323 件で、前年度に比べ 2,851 件（前年度比 8.3%）増加している。これを相談種別にみると、「身体的虐待」が 15,364 件と最も多く、次いで「保護の怠慢・拒否（ネグレクト）」が 14,365 件となっている。（図 9）

また、主な虐待者別にみると「実母」が 62.8%と最も多く、次いで「実父」22.0%となっている（図 10）。

さらに、被虐待者の年齢別にみると「小学生」が 14,467 件、「3歳～学齢前」が 9,334 件、「0～3歳未満」が 6,449 件となっている（表 10）。

図 9 児童虐待の相談種別対応件数

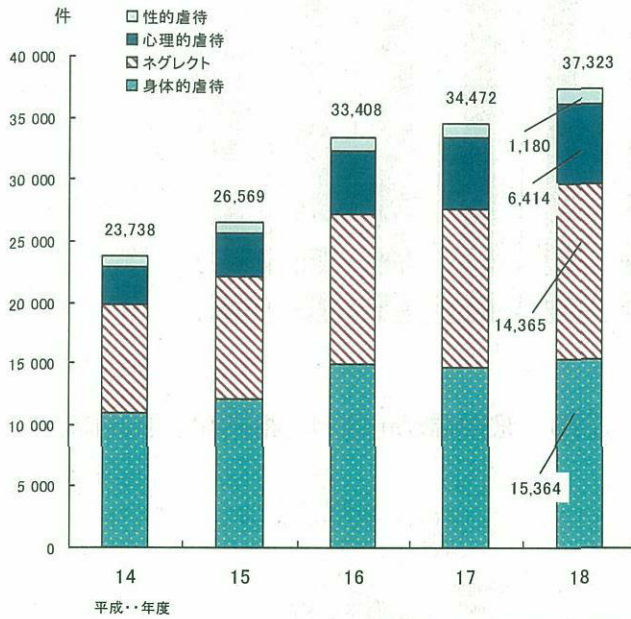


図 10 児童虐待相談の主な虐待者別構成割合

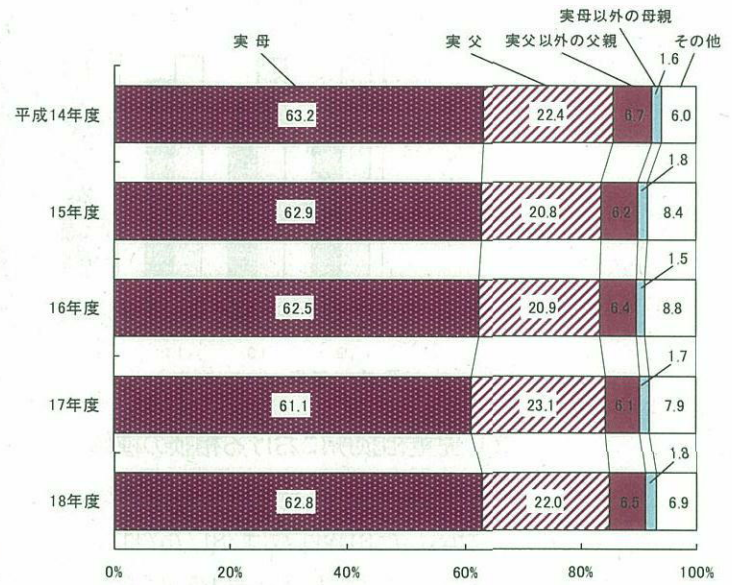


表 10 被虐待者の年齢別対応件数の年次推移

	平成14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対前年度	
						増減数	増減率(%)
総数	23,738	26,569	33,408	34,472	37,323	2,851	8.3
0～3歳未満	4,940	5,346	6,479	6,361	6,449	88	1.4
3歳～学齢前	6,928	7,238	8,776	8,781	9,334	553	6.3
小学生	8,380	9,708	12,483	13,024	14,467	1,443	11.1
中学生	2,495	3,116	4,187	4,620	5,201	581	12.6
高校生・その他	995	1,161	1,483	1,686	1,872	186	11.0

## 9 戦傷病者特別援護関係

平成 18 年度末現在の戦傷病者手帳交付台帳登録数は 43,005 人で、前年度に比べ 3,951 人（前年度比 8.4%）減少している（表 11）。

表 11 戦傷病者手帳交付台帳登録数の年次推移

	平成14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	各年度末現在	
						対前年度	
						増減数	増減率(%)
総数	61,570	56,610	51,692	46,956	43,005	△ 3,951	△ 8.4